

小島仕切沢遺跡の発掘調査成果 ～古代の生活を物語る多くの遺物が出土～

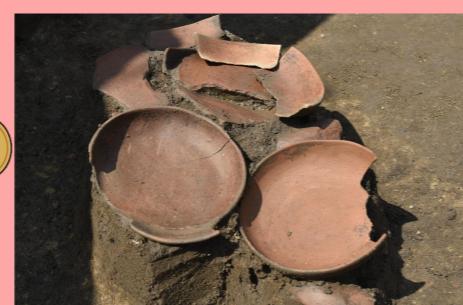
5月8日から7月14日まで、市内小島6丁目に所在する小島仕切沢遺跡の発掘調査が行われました。調査の結果、古墳時代後期（6世紀）から平安時代初頭（9世紀）にかけての集落跡が確認され、25軒の竪穴住居が検出されました。このうち、奈良時代（8世紀）の18号住居から200点以上、同じく奈良時代の22号住居から300点以上の土器が出土しています。この200点、300点という出土点数は、一軒の住居で通常使用される土器の個数を明らかに上回り、しかも「壊」と呼ばれる皿形の土器が大半を占めています。このことから、宴席などで用いられる「かわらけ」のような特殊な使われ方をした土器が、廃絶後の竪穴住居にまとめて投棄された可能性が考えられます。このほか、薦を編むための石の錘や、麻の纖維を績んで糸を作るための石製や鉄製の弾み車など、当時の生活の様子を物語る遺物も出土しました。



調査風景



遺物出土状況



サマーチャレンジを開催



手芸



親子で楽しむ料理教室

市内の11の公民館では、夏休み中の小学生を対象に、様々な体験教室を提供するサマーチャレンジを開催しています。

工作や手芸、習字、将棋、ダンス、スポーツ吹き矢、ボッチャ、陶芸、落語、親子で楽しむ料理教室など、66の教室が行われ、約930人の参加がありました。

暑い日が続いていましたが、暑さにも負けず、どの教室の子どもたちも真剣な顔つきで作業や運動に取り組み、すばらしい成果が見られました。

市民総合大学（ジュニアコース）



JALの機体整備工場見学

今年度は新たに、学年の異なる学生との交流を経験することで豊かな人材の育成を図ることを目的に、「異学年交流講座」を実施しました。市内6校の高等学校の生徒を講師に迎え、茶道、箏曲、理科、スポーツなど、多岐にわたる講座を実施し、高校生と交流しながら楽しく学習をしました。



茶道

その他、JALの機体整備工場の見学や、近隣大学のご協力による永久コマの作成などを行いました。

ミドルコースの受講生と共に学習する「世代間交流講座」では手話や防災の講座を実施しました。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭

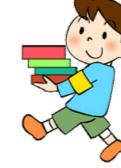


顕彰会では、塙保己一先生の命日である9月12日に、本庄市児玉文化会館（セルディ）で顕彰祭を開催しました。

当日は、塙保己一先生の遺徳をしのんで、ご来賓や金屋小学校の児童をはじめ、参加者全員の方に献花をしてもらいました。

また、献花終了後は、「おぬきのりこ＆杉山茂生ジャズトリオ」（～塙保己一に捧ぐ～演奏バンド）による公演が行われました。

図書館の 夏休み特別企画



夏休みおはなし会（本館）



おはなしのつどい（分館）

図書館では今年も夏休み特別企画として、子どもたちを対象としたさまざまな催し物を開催しました。

本館では7月26日に夏休み手作り工作教室「美しい万華鏡をつくろう！」を開催、20人の児童が作品を仕上げました。8月9日開催された「夏休みおはなし会」には、はにぽんも登場し、48人の参加者は大型絵本や紙芝居、腹話術等の実演を楽しみ、最後にプレゼントをもらって帰りました。また、夏休み期間中にはDVD上映会を5回に渡り開催し、延べ124人がアニメ映画などを楽しみました。

児玉分館では、7月31日に「こども書道教室」を開催し、25人の児童が作品に取り組みました。8月18日には「わくわくミニシアター」を開催し、11人が参加しました。

また、8月22日には夏をテーマにした「おはなしのつどい」を和室で開催し、20人が、絵本の読み聞かせや紙芝居、すばなし、なぞなぞなどを楽しみ、いつもと違ったおはなし会となりました。

